学校関係者評価委員会からの提言

児童	学習について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	97%	94%	−3%	1%	5%	4%	1%	0.81%	0%
	2	先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	92%	89%	−3%	5%	7%	2%	3%	4.07%	1%
	3	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	96%	96%	0%	2%	4%	2%	2%	0.00%	−2%
	4	先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	94%	90%	−4%	3%	7%	4%	3%	2.44%	−1%
保護者	学習について										
	1	本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	82%	74%	−8%	6%	13%	7%	12%	14%	2%
	2	本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	65%	68%	3%	11%	14%	3%	24%	18%	−6%
	3	本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	85%	74%	−11%	5%	11%	6%	10%	15%	5%
	4	本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	67%	64%	−3%	13%	21%	8%	20%	16%	−4%

保護者の評価が全体的に下がってはいるが、今回は保護者の回収率が悪く、数字だけでは判断しづらいものがある。児童もインフルエンザが流行していたこともあり、回収率が下がった。そのような状況の中、児童の肯定的評価が高い数値をキープしていることは、日頃の先生方の努力の成果ではないだろうか。ただ、保護者の中に「子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」という項目に否定的意見を持つ方がそれなりにいるので、児童には今まで通り対応しつつ、保護者には映像やタブレットを上手く利用し、上記の機会があると理解されるよう努力していただきたい。

今後も日常の授業において、タブレットの効果的な利用とともに、子ども同士の望ましい協働学習の実現を目指し、さらに授業改善に取り組んでいく。
また、授業でのタブレット活用の様子を保護者や地域に情報発信していくとともに、学校公開等で保護者が児童とともにタブレットを使った授業を体験できる場を設定していくなど、授業でのタブレットの活用への理解の促進に努める。

児童	生活について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	私は、学校のきまりを守って、行動している。	87%	90%	3%	8%	7%	-1%	5%	3%	-2%
	2	学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	92%	85%	-7%	1%	11%	10%	6%	3%	-3%
	3	先生に注意されたことは、理解できる。	92%	89%	-3%	6%	7%	1%	2%	3%	1%
保護者	生活について										
	1	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	77%	74%	-3%	10%	12%	2%	14%	14%	0%
	2	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	80%	78%	-2%	10%	15%	5%	10%	7%	-3%
地域	生活について										
	1	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	83%	87%	4%	13%	9%	-4%	4%	4%	0%

「私は、学校のきまりを守って、行動している」はこの数年、肯定的評価が上がってきているが、「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している」「先生に注意されたことは、理解できる」は年々肯定的評価が下がってきている。「自分は守っている」のに「先生に理解されていない」「他の子は守っていない」と考える児童が増えていると推察される。先生方には児童の機微を察する努力をお願いしたい。
地域の「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」の評価が上がったことは喜ばしいことである。

学校のきまりやルールの指導は、毎週月曜日の全校朝会で週当番の先生から気付いたことを全校児童に伝えることを徹底していく。また、学校生活でルールが守られていない場面での指導は、全教員が児童の気持ちに寄り添い、共通意識をもって丁寧に行うようにしていく。

児童	学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	学校行事は楽しい。	94%	92%	-2%	3%	8%	5%	3%	0%	-3%
	2	学校行事は達成感がある。	91%	92%	1%	9%	7%	-2%	1%	1%	0%
	3	先生は、児童の意欲を大切にしている。	93%	85%	-8%	1%	8%	7%	6%	7%	1%
保護者	学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について										
	1	学校行事は、子どもにとって楽しい。	96%	94%	-2%	1%	5%	4%	2%	2%	0%
	2	学校行事は、子どもにとって達成感がある。	96%	92%	-4%	2%	6%	4%	3%	2%	-1%
	3	本校は、子どもの意欲を大切にしている。	89%	83%	-6%	5%	9%	4%	6%	8%	2%
地域	学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について										
	1	学校行事の内容は充実している。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%

「楽しく」「達成感がある」学校行事ではあるが、児童は「先生は、児童の意欲を大切にしている」の評価が低い。前問の先生に対する評価が下がっていることを加味すると、先生と児童との間に感覚の差異があるように思われる。先生方には、児童に寄り添い、相互理解を深める努力をお願いしたい。

学校行事を含めた教育活動の実施にあたっては、子ども達にとって楽しく、達成感を得られる活動を計画的に進めていく。さらに、児童がどのような思いで行事に向かっているのかを確かめ、児童の思いに寄り添い、内容・方法等を工夫して実施していく。

児童	キャリア教育について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	68%	69%	1%	18%	21%	3%	15%	10%	-5%
	2	目標をもち、その実現に向けて努力している。	85%	80%	-5%	10%	16%	6%	5%	3%	-2%
	3	区立中学校に関する情報が提供されている。	64%	59%	-5%	16%	19%	3%	20%	23%	3%
保護者	キャリア教育について										
	1	本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	72%	62%	-10%	10%	16%	6%	18%	22%	4%
	2	本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	50%	49%	-1%	19%	22%	3%	31%	29%	-2%

キャリア教育については児童、保護者ともに肯定的評価が減り、否定的評価が増えている。世情により目標や将来が見えにくくなっているかもしれないが、キャリア教育は自分の生き方や将来を考える機会になるのでぜひ大切にしていただきたい。

今年度校内研究で「キャリア教育」の研究を行った結果を各教科指導の中で活用していき、より児童が「キャリア教育」の意識できるように指導を工夫していく。また、保護者に向けても「キャリア教育」と「教育活動」の関連についての情報発信を行い、理解していただけるよう努力していく。

児童	先生について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	先生たちは、ていねいに指導してくれる。	95%	94%	-1%	3%	6%	3%	2%	0%	-2%
	2	先生たちに相談できる。	75%	74%	-1%	18%	20%	2%	7%	7%	0%
保護者	教職員について										
	1	本校は、丁寧に指導している。	85%	79%	-6%	8%	12%	4%	6%	8%	2%
	2	本校は、子どものことを相談しやすい。	79%	73%	-6%	13%	20%	7%	7%	7%	0%

昨年とほぼ変わらない数字ではあるが、若干肯定的評価の減少と否定的評価の増加がみられる。
先生と児童との間で受けとめ方に差異があるかもしれないので、相談内容だけでなく、全体のやりとりを含めて理解し、指導をお願いしたい。

聞く耳をもち相談される存在になるために子ども達のことを最優先に考え、子どもからの話を傾聴したり、対話的なかかわりをすることを特に意識して取り組む。休み時間は子どもと一緒に遊ぶ共遊びをさらに励行する。さらに相談室を含め、カウンセラーとも連携を取り、環境づくりにも努めていく。

児童	全般について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	学校生活は楽しい。	91%	88%	−3%	6%	10%	4%	3%	2%	−1%
	2	学校が好き。	84%	85%	1%	12%	11%	−1%	4%	4%	0%
	3	私は、家庭で宿題やe−ラーニングでの学習をしている。	74%	80%	6%	17%	12%	−5%	9%	8%	−1%
	4	私は、塾で学習している	53%	60%	7%	35%	37%	2%	12%	3%	−9%
	5	学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	60%	63%	3%	25%	20%	−5%	15%	17%	2%
保護者	全般について										
	1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	93%	86%	−7%	4%	11%	7%	3%	3%	0%
	2	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	69%	65%	−4%	30%	34%	4%	1%	1%	0%
	3	本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	73%	78%	5%	13%	9%	−4%	14%	13%	−1%
	4	本校の教育活動に満足している。	86%	75%	−11%	10%	18%	8%	4%	7%	3%
	5	子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	87%	86%	−1%	9%	12%	3%	4%	2%	−2%

児童の「学校生活が楽しい」が減少し、家庭やe−ラーニング、塾の学習の肯定的意見が増えている。コロナなどで普段の生活の基準がかわってしまったのかもしれない。
中学校との交流については児童・保護者ともに肯定的意見が増えているので、学び舎と連携しつつ子どもたちが学校生活の楽しさを感じられるような環境づくりに努めていただきたい。

すべての子ども達が、「学校が楽しい、好き」と思える学校づくりを引き続き、目指していく。家庭学習については、子ども達がさらに意欲的に取り組めるようにタブレットの活用を推進していく。「学び舎」との交流活動は、学び舎の各校と連携をとり、さらに充実した活動になるよう努力していくと共に、活動内容を広くお知らせしていく。

保護者	学校からの情報提供について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	93%	86%	−7%	7%	10%	3%	1%	4%	3%
	2	「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	46%	47%	1%	32%	32%	0%	21%	21%	0%
	3	本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	88%	93%	5%	10%	6%	−4%	2%	1%	−1%
	4	本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	96%	92%	−4%	3%	5%	2%	1%	4%	3%
地域	学校からの情報提供について										
	1	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	−4%
	2	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	79%	91%	12%	13%	4%	−9%	8%	4%	−4%
	3	学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	88%	96%	8%	0%	0%	0%	13%	4%	−9%
	4	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	92%	96%	4%	0%	0%	0%	8%	4%	−4%

情報提供について概ね保護者及び地域とも昨年同様に高評価を得ている。特に地域は学校からのお知らせやホームページにより高評価となっているのでこのまましっかりと情報提供を行っていただきたい。しかしながら「学び舎」の情報提供の評価が保護者と地域で大きく異なっているので保護者が何を望んでいるのか把握し改善していただきたい。

学校からの情報提供については、今後も、ホームページ等を活用し教育活動への理解を図ることができるようにしていく。「学び舎」に関しては、各校と連携を図りながら、より多くの情報提供ができるようにしていく。

保護者	学校運営について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	82%	84%	2%	9%	8%	−1%	8%	8%	0%
	2	校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	91%	85%	−6%	3%	7%	4%	6%	8%	2%
地域	学校運営について										
	1	学校の重点目標が明確である。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	−4%
	2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	92%	100%	8%	4%	0%	−4%	4%	0%	−4%

重点目標の伝わり方が保護者、地域ともに昨年より評価が上がっているので引き続きより解りやすい情報提供をお願いしたい。しかしながら教育活動の協力については昨年と比べ評価が下がっているので問題を把握し改善していただきたい。

重点目標を簡潔にすることで教職員、児童、保護者、地域が意識しやすくしていく。今後もホームページ等で情報発信を行い、本校の学校運営に関して保護者と地域に丁寧に伝えていく。

保護者	家庭と学校の連携について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	私は、学校公開にすすんで参加している。	85%	88%	3%	14%	10%	−4%	1%	2%	1%
	2	私は、学校行事、ＰＴＡや地域主催の行事などにすすんで協力している。	67%	66%	−1%	32%	33%	1%	1%	1%	0%
	3	私は、今年度の学校重点目標を理解している。	57%	59%	2%	30%	28%	−2%	13%	13%	0%

コロナの５類移行に伴い、学校公開も同様グループ分けの制限もなく自由な時間に参加することが出来たことが評価を押し上げたと思われる。また、学校行事の協力は保護者の就労事情を考えると参加日等、日程調整の難しさがあるように思える。学校重点目標は周知努力の結果少しづつでも理解が進んでいる。今後とも周知努力をお願いしたい。

コロナ禍においても、新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、学校公開や学校行事へより多く保護者が参加できるように実施方法を工夫していく。学校の重点目標が保護者に理解しやすいように簡潔にし、ホームページや手紙で周知しいく。

保護者	地域との連携について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)−(a)
	1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	86%	91%	5%	5%	4%	−1%	9%	6%	−3%
	2	本校は、地域の活動などに協力的である。	86%	90%	4%	3%	1%	−2%	10%	9%	−1%
	3	本校は、地域に情報を提供している。	76%	78%	2%	5%	4%	−1%	19%	18%	−1%
地域	地域との連携について										
	1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	−4%
	2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	88%	87%	−1%	0%	4%	4%	13%	9%	−4%
	3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	96%	96%	0%	0%	4%	4%	4%	0%	−4%

コロナの５類移行に伴い、地域の「盆踊り」「祭礼」等も以前の賑わいを取り戻して来たことにより地域の人々との交流が活発になり評価が上がったと思ういます。
地域との連携もそれぞれの活動について高評価を持続している。今後とも地域との連携を維持に努めてほしい。

地域と関わる活動については、来年度も地域と連携しながら進めていく。また地域と連携した活動についてはホームページ等を活用した広報活動に努めて、活動への理解を図っていく。

保護者	学校の安全性について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	本校は、安全な学校づくりを進めている。	77%	73%	-4%	13%	20%	7%	10%	6%	-4%
	2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	90%	90%	0%	5%	4%	-1%	5%	6%	1%
	3	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	80%	81%	1%	10%	12%	2%	10%	7%	-3%
地域	学校の安全性について										
	1	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%

安全な学校づくりについて、否定的意見が若干増えている。ハード面であれば仕方がないが、その他の要因がないが検討する必要があるのではないか。
自然災害時の対応についての情報提供については、評価は低くはないものの、約2割が否定的もしくはわからないと回答しているところが気にかかる。
自然災害が増えている昨今、この値は見逃すべきではなく、よりきめ細やかな対応が必要ではないかと思われる。

学校安全については、子ども達への安全教育の充実を今後も推進していく。自然災害時の対応については、避難訓練等を活用して、災害時の対応について適切に指導していく。

保護者	学校独自項目について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)	R4年度(a)	R5年度(b)	(b)-(a)
	1	本校の教育目標「かしこく　やさしく　たくましく」はよいと思う。	94%	95%	1%	4%	4%	0%	2%	1%	-1%
	2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	81%	87%	6%	4%	2%	-2%	15%	11%	-4%
	3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	89%	86%	-3%	4%	5%	1%	7%	8%	1%
	4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するために、効果的である。	94%	93%	-1%	2%	3%	1%	3%	4%	1%
	5	朝学習で国語・算数・英語に取り組んでいることは、学力向上と学習習慣習得のために効果的である。	91%	90%	-1%	4%	5%	1%	5%	6%	1%
	6	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	97%	96%	-1%	1%	2%	1%	2%	2%	0%
	7	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	96%	98%	2%	2%	1%	-1%	2%	1%	-1%
	8	Ｔ．Ｔ指導や習熟度別学習をすることにより理解度が増し、進んで学習する子の育成に効果的である。※Ｔ．Ｔ指導（１～２年生の算数で、担任ともう一人の教員が入って指導に当たること）※習熟度別学習（３年生以上の算数で、学級数プラス1のグループに分けて少人数で習熟度別に学習すること）	91%	89%	-2%	4%	4%	0%	5%	7%	2%
	9	「盆踊り大会～砧っ子夏祭り～」「石井戸囃子」は、地域と交流できるとてもよい活動である。	92%	94%	2%	6%	5%	-1%	2%	1%	-1%

地域	学校独自項目について										
	1	本校の教育目標「かしこく　やさしく　たくましく」はよいと思う。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	96%	91%	-5%	0%	0%	0%	4%	9%	5%
	3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	96%	96%	0%	0%	4%	4%	4%	0%	-4%
	4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するために、効果的である。	92%	87%	-5%	4%	9%	5%	4%	4%	0%
	5	朝学習で国語・算数・英語に取り組んでいることは、学力向上と学習習慣習得のために効果的である。	83%	91%	8%	4%	4%	0%	13%	4%	-9%
	6	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	88%	100%	12%	0%	0%	0%	13%	0%	-13%
	7	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	92%	96%	4%	0%	4%	4%	8%	0%	-8%
	8	Ｔ．Ｔ指導や習熟度別学習をすることにより理解度が増し、進んで学習する子の育成に効果的である。※Ｔ．Ｔ指導（１～２年生の算数で、担任ともう一人の教員が入って指導に当たること）※習熟度別学習（３年生以上の算数で、学級数プラス1のグループに分けて少人数で習熟度別に学習すること）	88%	96%	8%	0%	0%	0%	13%	4%	-9%
	9	「砧っ子夏祭り」「石井戸囃子」等は、地域と交流できるとてもよい活動である。	92%	100%	8%	0%	0%	0%	8%	0%	-8%

昨年同様、概ね高評価となっている。コロナがあけて、学校の活動が見えるようになってからの評価なので、一定の理解が得られていると推察される。今後も子どもたちのより良い学校生活のために、ご尽力いただきたい。

これまで、学校が進めてきたことに対して一定の評価をいただいているので、今後も維持していくとともに、さらに充実を図れるように努めていく。

（総評）
本アンケート項目の設問が3年目となり、過年度との比較ができるようになりました。全般的に、大きな変化はなかったのですが、コロナが５類に移行し、各種の集合する行事や地域との連携する機会が増えたことで砧小学校の独自取り組みに対する地域からの評価が高まっています。一方で、保護者からのアンケート調査の回収率が低迷しております。保護者の皆様のご協力は、学校独自の行事等学校運営に反映される機会につながるので、よろしければご協力をお願いできればと考えております。